

日本生体医工学会 平成 30 年度第 1 回理事会議事録

日時 平成 30 年 6 月 20 日(水) 18:20～18:50

場所 札幌コンベンションセンター 1階 104+105ルーム

<出席者>

理事： 木村 裕一，杉町 勝，大城 理（兼関西支部長），石原 謙（兼中国四国支部長），川田 徹，平田 雅之，生田 幸士（第 58 回大会長），井村 誠孝，中島 一樹，成瀬 恵治（第 59 回大会長），横澤 宏一
監事： 中沢 一雄

<オブザーバー・出席者>

幹事： 永岡 隆
オブザーバー： 磯山 隆（事務局長），工藤 信樹（北海道支部長），吉澤 誠（東北支部長）堀 潤一（甲信越支部長），佐久間 一郎（関東支部長），岡本 英治（第 57 回大会長），椎名 毅（第 60 回大会長），荒船 龍彦（若手研究者活動 WG）

<欠席者>

理事： 守本 祐司，黒田 知宏，佐藤 嘉伸，野村 泰伸，松田 哲也
坂田 泰史，松村 泰志
監事： 澤 芳樹，吉田 正樹
幹事： 京相 雅樹，原口 亮

<配布資料>

資料 30-1-2 会務の担当について

1. 理事会成立の件

- 理事 10 名と監事の出席が報告され、定款第 34 条に基づき、理事会成立が宣言された。

2. 理事長・副理事長の選定

- 定款第 22 条 3 項に基づき、理事長として木村裕一氏が、副理事長として杉町 勝氏と大城 理氏が選定された。

3. 会務について 木村理事長

- 資料 30-1-3 に基づき、会務担当が承認された。
- 委員長に対し、副委員長と幹事 2 名の選任依頼があった。その際、幹事は原則 M 系と E 系から 1 名ずつ選出し、また委員の選定も進めてほしい旨依頼があった。

- 非会員を委員として選任して構わない旨が確認された。
4. 今期での学会運営での検討点 木村理事長
- 今期の学会運営での検討点が提示された。
 - 1) 臨床研究法への対応
 - 2) 黒字化に向けた財務運営手順の構築
 - 3) 関連学会との連携
 - 4) 選挙の電子化
5. 理事会の運営について 木村理事長
- 8月上旬に第2回の理事会を開催予定。定足数として理事10名以上と監事1名以上の出席が必要であることが確認された。なお、監事1名以上はオンラインではない出席が必要であることも確認された。
 - オンラインでの出席も可能であるが、できる限り参加をお願いしたい旨依頼があった。
 - 昨年度定足数に満たず、流会になったことがある。当日の欠席は極力避けていただきたい旨依頼があった。
 - オンライン会議システムについて、音質が悪いとの指摘があった。マイクかスピーカーに問題があると考えられる。事務局で調整を検討する。
 - 理事会日程の決定、議案の提案、資料配布等は効率性、及びオンラインでの出席者がいることから、今後メールでの配信とすることとなった。資料は今後事前に pdf 等で配布することとなった。
6. 臨床研究法 WG について 木村理事長
- 本 WG では医行為のガイドライン、医療機器試作のガイドラインを作成する。
 - 2019年3月での法の移行期間の終了を考慮して、ガイドラインの策定を進める。
 - 他学会との共同、会員への周知も行う。
7. 定款の改定について 大城理事
- 支部長は現在理事会のオブザーバーだが、地方からの希望を学会の運営に反映するため、理事にできないのかとの提案があった。
 - 規約担当理事は公益社団法人化に伴い廃止されたため、定款に関連する業務は総務の担当であることが確認された。
 - 代議員の1/10が理事の上限と規定されている。また、理事が多すぎると内閣府に指摘される可能性があるとの指摘があった。
 - 支部長を理事とするための定款および関連規約の改定を引き続き検討することとした。

8. その他

- 2019 年学会大会の開催について、大会長の生田理事より、沖縄を候補地として検討を進めている旨報告があった。

以上